



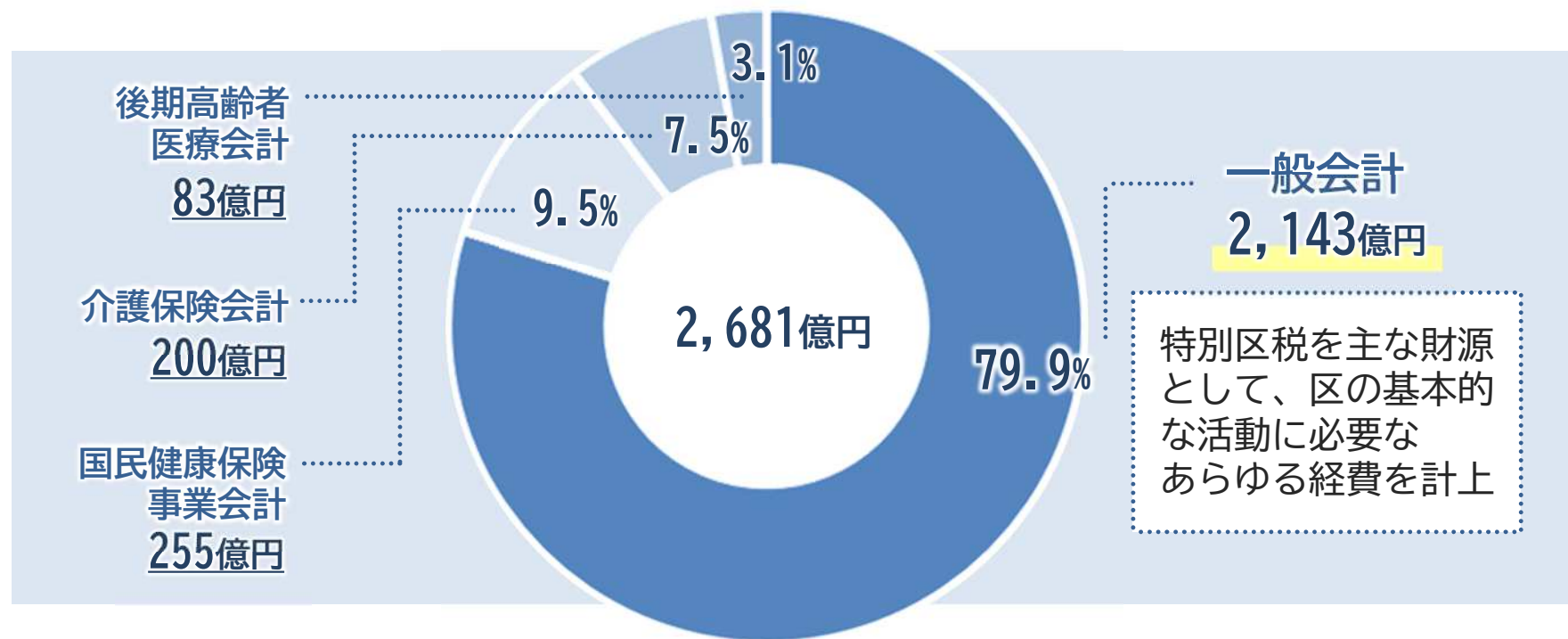
令和8年2月2日開催
港区令和8年度予算案記者発表

MINATO CITY 

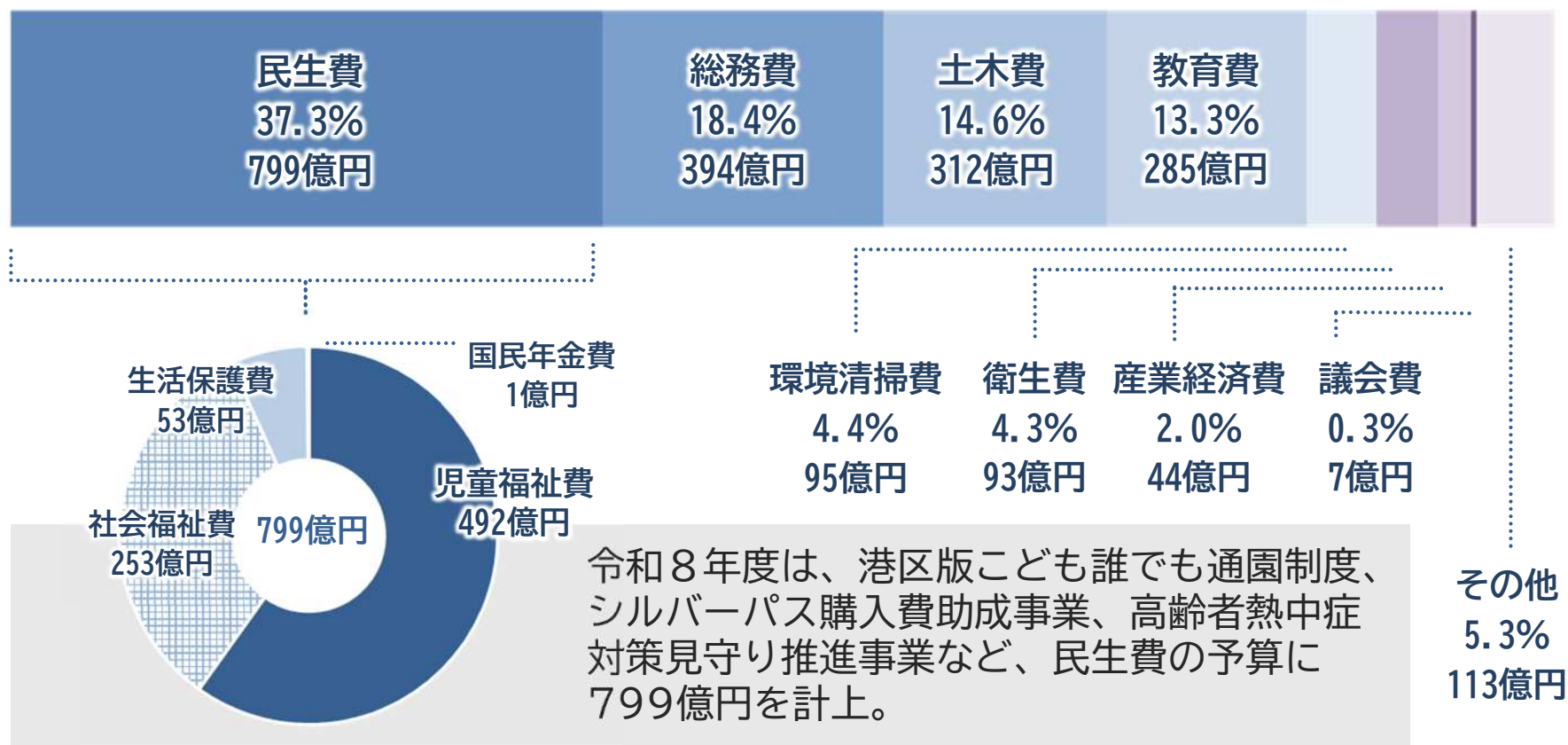
港区の誇りを、これからも。
明日を力強く支え、未来へ続く予算

令和8年度予算規模

一般会計当初予算は **過去最大** の規模となる **2,143億円** を計上

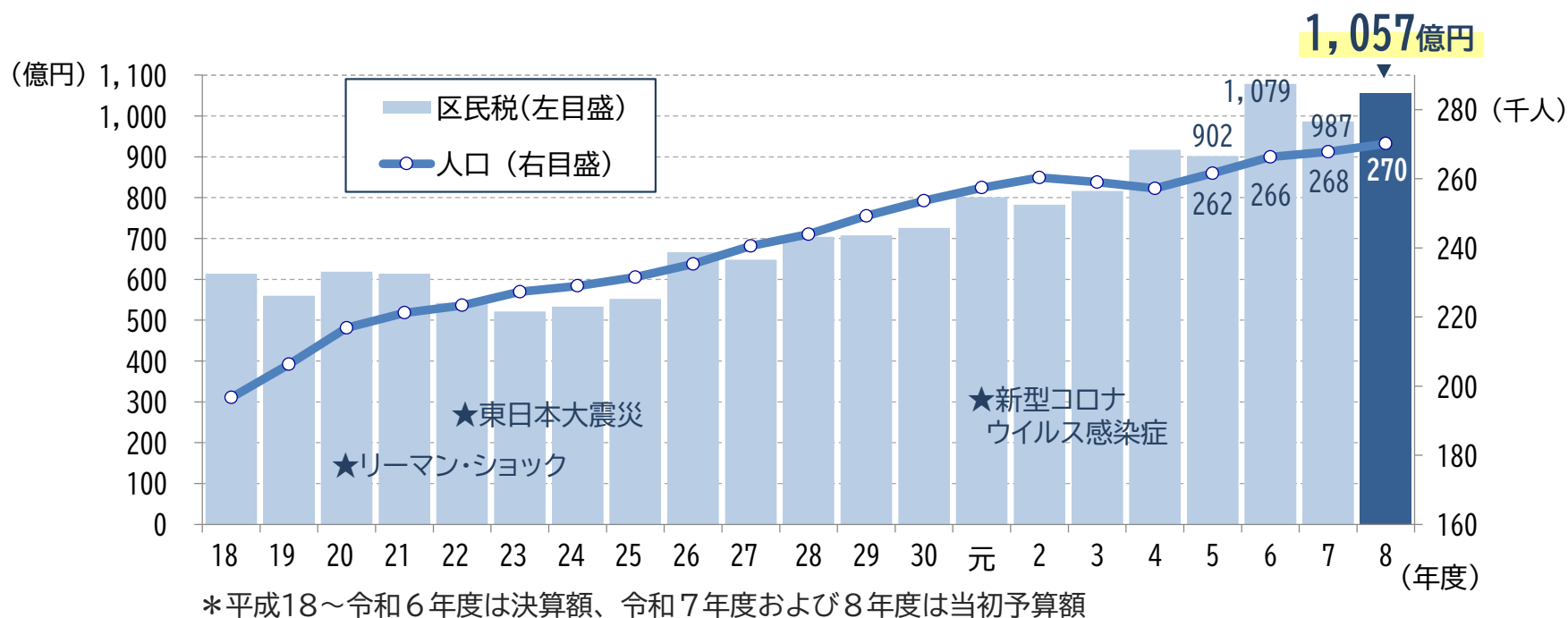


令和8年度目的別歳出予算



人口と特別区民税収入の推移

歳入の根幹を成す特別区民税は人口の増加に伴い堅調に推移しており、**当初予算では過去最高額となる1,057億円**を見込んでいます。



令和8年度 重点施策

重点施策 1	子どもの可能性が広がる未来に向けて種をまく施策	159億 9,272万円
重点施策 2	一人ひとりの健やかな暮らしに寄り添い支える施策	100億 8,586万円
重点施策 3	揺るぎない安全と美しい街並みを未来につなぐ施策	20億 8,140万円
重点施策 4	彩りと活気に満ちた誇れる先進都市を共に描く施策	78億 4,779万円

個別事業紹介



子育て家庭向け家事支援サービスの実施

新規

- 区の実態調査によると、就学前の子どもがいる世帯の共働きの割合は7割を超え、そのうち約8割が夫婦ともにフルタイムで勤務しています。
- 区に寄せられる子育ての相談は、就学年齢である7歳までの子どもに関するものが、全体の約7割を占めています。

▶ 保護者の身体的・精神的な負担を軽減するため、家事支援事業を実施します。

小学校1年生までの子どもがいる
全ての家庭を対象とする家事支援は

都内初！

対 象 者 3歳から小学校1年生までの子どもを養育する家庭

＊2歳までは「産前産後家事・育児支援サービス」を利用できます。

利 用 時 間 午前8時～午後10時 事 業 開 始 令和8年10月

利 用 料 1時間当たり2,250円程度（利用者負担）

利 用 上 限 対象年齢の子ども 1人につき年36時間



ホームヘルパーの訪問を通じて、子育ての孤立化や児童虐待の防止にもつなげます。

港区における「こども誰でも通園制度」の実施

新規

区では令和6年度から、「未就園児の定期的な預かり事業」を試行的に実施し、区民ニーズの把握などを進めてきました。

令和8年度からの全国的な「こども誰でも通園制度」の実施に合わせ、これまでの試行実施を踏まえた、区独自の「こども誰でも通園制度」を実施します。

対 象 者

①②ともに該当する子ども

①生後6か月から3歳に達する年度の年度末までの子ども

②幼稚園、認可保育園、認定こども園、地域型保育事業、
企業主導型保育施設に在籍していない子ども

利 用 料

無 料

利用可能時間

1人当たり月24時間まで

事業開始

令和8年4月



ココが 港区独自！

国の基準より

対象年齢が**広い！** 利用可能時間も**多い！**

利用料は **無料！**



一時保育事業・一時預かり事業の保育料と利用料の一部無償化

レベルアップ

一時保育事業と一時預かり事業の保育料と利用料の一部を無償化し、利用者の経済的負担を軽減します。

子ども1人当たり年間144時間
(12時間相当/月)までの保育料
と利用料を無償化します。

*令和8年度は、子ども1人当たり年間
84時間まで(事業開始が9月のため)

対 象 者 就学前の子どもがいる世帯

事業開始 令和8年9月

利用時間の管理には手軽で便利な
webサービスを活用します。



対 象 事 業

- 認可保育園等の一時保育事業
- 子育てひろばあっぱいの一時預かり事業
- みなと保育サポートのスポット利用保育
- みなと子育てサポートハウス「あい・ぽーと」の一時預かり事業
- みなと子育て応援プラザPokkeの一時預かり事業
- 派遣型一時保育
- 育児サポート子むすび



孤立させない子育てプログラムの実施

新規



区は、令和7年9月1日に「港区こどもまんなか宣言」を行い、社会全体で子どもの人権を守り、すべての子どもが幸せを実感できる国際都市・港区の実現に向けて取り組んでいます。

子育てに悩みや不安を感じている保護者を対象に、より良い親子関係の形成を支援するプログラムを実施し、子育ての孤立化や児童虐待の防止につなげます。

子育てセミナー



子育ての仕方、子どもとの向き合い方、思春期の子どもとの関わり方などについて、1日の講座で学びます。（年2回実施）

対象者 妊娠中から18歳未満の子どもを育てる保護者や子育て関係者

子育て知識・技術を学ぶグループセッション

講義、グループワーク、ロールプレイや個別相談により、子育て知識や子どもの行動への対応方法などの技術を学びます。

対象者 ①12歳未満の子どもの保護者
②18歳未満の子どもの保護者

実施回数 ①1クール8回（年2回）
②1クール8回（年1回）

全区立小学校の学校図書館でのモーニングスクールの実施

新規

区では令和7年度、モデル校2校で、始業前のモーニングスクールを試行実施しました。令和8年度からは、**全ての区立小学校の学校図書館でモーニングスクールを実施**します。図書館で実施することで、児童の朝の居場所づくりとともに読書時間の充実を図ります。

全区立小学校の図書館での実施は **都内初！**

- 対 象 者** 区立小学校（通常の学級、特別支援学級）の1年生
受入時間 午前7時30分から登校開始時刻まで（原則）
場 所 区立小学校の学校図書館（原則）
受入体制 学校司書または学校図書館支援員 2～3名
開 始 令和8年4月



特別支援学級の児童が安心して利用できる体制も整備！

通学時の**スクールカー**の手配
スクールボランティアの配置

*希望者対象

区立小中学校の移動教室、夏季学園、校外学習の無償化

レベルアップ

区では、子どもたちが各家庭の経済状況にかかわらず安心して学習できるよう、学用品に係る費用を無償化しています。

令和8年度からは、区立小中学校の移動教室、夏季学園、校外学習に係る経費についても、**所得制限なく無償化**します。



港区立箱根ニコニコ高原学園

対象経費 借上げバス費用、宿泊費用、施設入場料、体験学習費 など

対象事業

移動教室

小学校6年生（2泊3日 小田原・箱根周辺）
中学校1年生（2泊3日 長野県野辺山周辺）

夏季学園

小学校5年生（1泊2日 箱根・河口湖等）
中学校2年生（2泊3日 自然体験等）

校外学習

区立小中学校の全学年（日帰り）



海外留学支援の拡充

レベルアップ

区ではこれまで、海外留学に関する支援として、小学生から大学生までを対象にしたセミナーや個別相談フェアなどを実施してきました。新たな取組として、常設の個別相談窓口を開設するとともに、都内での海外学校体験事業を実施します。

令和8年度から実施する新たな取組

多彩で充実した
海外留学支援は

23区初！



どちらも無料！

海外留学等の相談窓口の設置

海外留学や海外大学への進学を検討している区民を対象にした、常設の相談窓口です。

形態 電話、オンライン

開設時間（予定）

火曜日～金曜日 午前11時30分～午後8時
土曜日 午前10時30分～午後7時

海外学校体験事業（サマースクール）の実施

留学のイメージを描ける、海外大学の都内キャンパスでの5日間の体験です。

対象・定員 高校生の区民・30名

プログラム例

海外中継授業、交流ランチ、英語でのワークショップやプレゼンテーションなど

港区国際理解教育プログラムに基づいた英語学習の充実

レベルアップ

子どもたちの年代ごとの到達目標と姿を体系化した「港区国際理解教育プログラム」（令和7年10月策定）に基づき、英語学習のさらなる充実を図ります。

港区国際理解教育
プログラム
MINATO グローバルコンパス
～真の国際人育成に向けて～



令和7年10月策定

令和8年度からの充実の内容

TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) での校外学習

株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する
体験型英語学習施設で校外学習を実施

対 象 全区立小学校の6年生・全区立中学校の2年生

オンライン英会話教室の拡充

グループレッスン、マンツーマンレッスン、
アプリケーションを活用した学習を実施

対 象 区立中学校1年生～3年生（任意参加）



区立中学校におけるeスポーツ部の新設

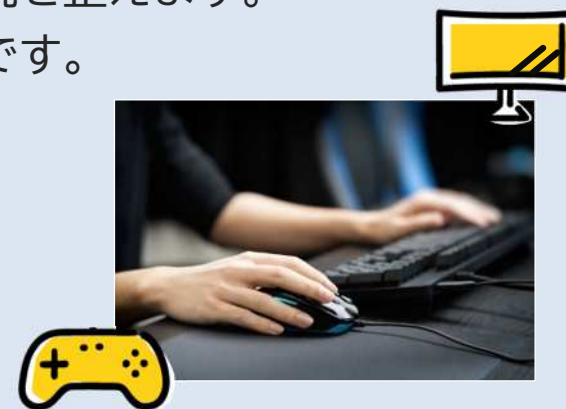
臨時（新規）

区立中学校2校に新たにeスポーツ部を設け、子どもたちがeスポーツを通じて様々なスキルを身に着ける機会を提供するとともに、区立中学校の魅力向上にもつなげていきます。

区立中学校のeスポーツ部は **23区初！**

- ゲームに特化した高性能の機材を導入し、環境を整えます。
- プロの講師がスポット的に指導にあたる予定です。

対 象 校 青山中学校、お台場学園港陽中学校
導 入 設 備 ゲーミングPCおよび周辺機器一式
ゲーミングデスク、ゲーミングチェア
活 動 回 数 週3回程度



特別支援学級のキャリア教育の充実

継続

港区では、企業と連携したキャリア教育として、特別支援学級に在籍する児童を対象とした「出張授業」、生徒を対象とした「職業体験」、保護者を対象とした「キャリア教育講演会」を実施してきました。新たに2つの取組を実施し、キャリア教育のさらなる充実を図ります。



新たに実施する取組

東京アビリンピック見学会 (東京障害者技能競技大会)

対 象 区立小中学校特別支援学級に在籍する、
小学校5年生～中学校3年生の児童・生徒と
その保護者
*令和7年度から実施

特別支援学級設置中学校への 地域部活動「技能部」の新設

活 動 パソコン操作、ネイル施術、清掃など、生徒の
興味や特性に応じた活動を月2回程度実施
対 象 区立中学校特別支援学級の生徒
場 所 区立青山中学校

安全確保のため、希望者
にGPSを貸与します。



障害者の日中の居場所確保に向けた事業者支援

レベルアップ

高等学校卒業以降（18歳以上）の障害者が、社会に適応するための日常的な訓練を受けながら日中に安全に過ごすことができる常設の居場所を確保するため、サービスを提供する事業者に対して事業開設の経費などを補助します。

18歳以上30歳未満の障害者を対象にした、身体を動かすプログラムや音楽セラピーなど

対 象 経 費 開設準備経費（工事費、賃借料等）
開設後経費（賃借料 開設後1年間）

補 助 率 10/10 **補 助 上 限** 1,500万円 **募集開始** 令和8年4月



- 放課後等デイサービス事業指定事業者がこうした場を提供することで、質が高く、切れ目ない継続的な支援が期待できます。
- 保護者が安心して就労できる環境整備にもつなげていきます。

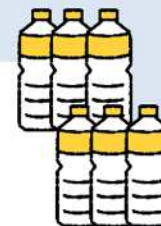
高齢者熱中症対策見守り推進事業の実施

新規

在宅高齢者を対象に、飲料配達を通じた見守りを実施し、熱中症予防の啓発を強化します。

在宅高齢者への飲料配達を通じた啓発・見守り

高齢者にペットボトル飲料を配達して啓発するとともに、配達員が健康状態に関する簡単な聞き取りを行い、熱中症の危険性が高いと思われる場合は、ふれあい相談員などによる訪問につなげます。



対 象 75歳以上の区民（施設入所者を除く）

配達内容 1人当たり
500ml飲料6本

時 期 令和8年6月～8月



ふれあい相談員による体水分測定と啓発

／ 気づきにくい脱水を防止！ ／

ふれあい相談員が75歳以上のひとり暮らし等の区民を訪問し、体水分計による測定値を参考にしながら、適切な水分補給を促します。

高齢者のいきいきとした社会生活の支援

新規/レベルアップ

高齢者のいきいきとした社会生活を支えるため、シルバーパスの購入費助成と、「生活支援体制整備事業」における2事業を新たに実施します。

シルバーパス購入費助成

対 象 ①～③全てに該当する人

- ①満70歳以上の区民
- ②東京都シルバーパス(※)を12,000円で購入した人
- ③令和8年度住民税が課税で前年の合計所得135万円超の人

助 成 額 11,000円/1人

受付開始 令和8年10月

(※)有効期限
令和8年10月1日～令和9年9月30日



生活支援体制整備事業（新たに実施する2事業）

港区シニア食堂推進事業



地域活動団体が主体的に運営するシニア食堂(月1回程度)に対し、区が補助します。
いきいきプラザなど、実施場所の確保も支援します。

高齢者等見守りサポーター養成支援

地域におけるゆるやかな見守り要員「高齢者等見守りサポーター」を養成するため、地域住民を対象にした研修を実施します。



MINATO DOG&CAT宣言

レベルアップ

区に在籍する動物政策監の監修のもと、犬と猫の飼い主が行うべきことを宣言としてまとめ、**その主旨に賛同・署名した飼い主の犬・猫を、「MINATO DOG」「MINATO CAT」として登録**します。宣言の普及により、人とペットが安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。

!!!
都内初！



対 象 者 犬・猫を飼っている港区在住者

宣言の対象となる犬・猫はマイクロチップ装着等の条件あり

事業開始

令和8年10月

宣言の内容

飼い犬登録と狂犬病予防注射を実施、マイクロチップの装着、終生飼養への責任、周辺の住宅や環境への配慮、ペットのための防災用品の準備など、全10か条



MINATO DOG&CAT宣言に賛同・署名した飼い主に、500円相当の「みなトクPAYポイント」をプレゼント！



高層住宅における救命力向上とAED支給

継続/新規

区では、区内におけるAEDの設置場所の拡充や意識啓発に向けて、これまで様々な取組を進めてきました。令和8年度は新たに、救命講習等を受講した高層住宅を対象にAEDを現物支給し、区全体の救命力向上を図ります。



これまでの取組

- 企業等との連携による設置拡大
24時間営業の店舗(企業)と協力
- 区立公園・児童遊園への設置拡大
- 理解促進・普及啓発
動画やリーフレット作成、講習会の実施

小・中学生や、学校施設を利用する
スポーツ団体向けの講習会も実施！



新たに実施する取組

● 高層住宅へのAED支給

対 象 1棟につき地階を除く階数が
6階以上かつ住戸数20戸以上で、
救命講習等を受講した高層住宅



- * 助成台数は原則1棟あたり1台を上限とする
16階以上の高層住宅は階数に応じて追加支給
- * 共用部などわかりやすい場所へ設置すること
- * AED収納ボックス等による適正な保管ができること

止水板設置工事等経費の助成

レベルアップ



麻布十番商店街
令和6年8月撮影

近年、集中豪雨による浸水被害が頻発しており、令和6年8月には麻布十番付近でも浸水被害が報告されました。水害から区民を守るため、止水板の設置工事などに係る経費の一部を助成します。

全ての建築物の助成上限を一律とするのは **23区初!**

対 象

区内に存する全ての住宅、店舗、事務所等の建築物

補助率・補助上限 4/5・150万円

募集開始 令和8年4月



止水板の設置イメージ

家具転倒防止器具の助成

レベルアップ

区では平成18年度から、1世帯1回限りの助成として、家具の転倒や食器類の飛び出しを防止する器具を無償で現物支給しています。事業開始から20年が経過したことから、助成内容を一部見直すとともに、これまでに助成を受けた世帯も再度申請できるようにします。



世帯人数のポイント数に応じた器具を、申請に基づき支給します。

対 象 港区に住民登録のある世帯

令和8年度の見直し内容

- 過去の申請履歴をリセット
*リセット後の助成も1世帯1回のみ
- ポイント数の拡充
- 助成対象用品のラインナップを一部変更

世帯人数	令和7年度	令和8年度
ひとり及び2人世帯	150ポイント	200ポイント
3人以上世帯	195ポイント	250ポイント

自力で器具等を取り付けることが困難な世帯には、取り付けを支援します。



防災用品支給による防災意識の啓発

臨時（新規）

港区では、全世帯への携帯トイレ配付、家具転倒防止器具等の助成、防災用品のあっせんなど、各世帯の防災の備えを支援しています。
令和8年度は、カタログから選択した防災用品を支給する事業を実施します。
災害への備えを強化するだけでなく、防災用品を選ぶ過程を通じて防災意識を啓発します。

支給内容 1世帯につき5,000円相当分の防災用品をカタログから
選択してもらい支給します。

対象 基準日時点で港区に住民登録のある世帯

申請時期 令和8年9月下旬～11月
＊申請後受付後、順次発送予定

防災用品を選ぶ過程を
通じて防災意識を啓発！



みなと区民の森の二酸化炭素吸収量のJ-クレジット化

レベルアップ

港区では平成19年度から、あきる野市の市有林（現在約22ヘクタール）を借り受け、「みなと区民の森」を整備しています。この整備による二酸化炭素吸収量について、J-クレジットの認証を受けられるよう、必要要件であるプロジェクト登録に向けて、森林経営計画などの作成を進めます。



23区初！

J-クレジット制度

CO₂の吸収量等をクレジット(証書)として国が認証する制度
J-クレジットはカーボン・オフセットなどに活用可能

J-クレジット認証によって「みなと区民の森」の価値を高めるとともに、民間企業を先導し、2050年ゼロカーボンシティの実現を目指します。

スケジュール	令和8年度	森林経営計画及びプロジェクト計画策定
	令和9年度	プロジェクト登録申請、 各計画に基づく森林整備を開始
	令和10年度以降	J-クレジット認証申請、取得

間伐や植栽
などにより、
森の新陳代謝
を図ります。



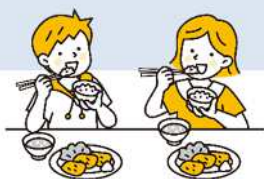
コンビニ、スーパーおよび障害者団体と連携したフードドライブの実施

レベルアップ

区では、区有施設10か所で未利用食品を回収してきました。令和7年9月からは、ファミリーマート3店舗とスーパーマーケットのライフ1店舗にも回収ボックスを設置し、「買物のついで」に利用してもらえるよう、実証実験を開始しています。令和8年度からはこの取組をさらに広げて食品ロス削減を促進するとともに、障害者団体と連携し、障害者の就労支援にもつなげていきます。

- 新たにファミリーマート7店舗に回収ボックスを設置し、区内の計21か所で未利用食品を回収します。
- 回収、保管、配送などの業務を、認定NPO法人みなと障がい者福祉事業団へ委託します。

設置開始 令和8年4月1日



回収した未利用食品は、区内の子ども食堂や母子生活支援施設等に寄付されます。

24時間営業のコンビニで、いつでも「買物のついで」に利用できます。



パリ市15区への青年海外派遣の実施

レベルアップ

港区とパリ市15区は、令和7年3月に国際友好都市提携を締結しました。この提携を踏まえ、パリ市15区と文化・芸術等での交流を一層深めていくため、**区内在住の高校生・大学生等を対象に、パリ市15区への派遣を実施**します。

対象・定員	港区在住の高校生・大学生等（15～24歳）	15名
時期・日程	令和8年11月	5泊7日
派遣先での活動	パリ市15区役所訪問 文化・芸術・行政施策の視察 現地学生との交流	など
参加費	一人当たり8万円程度（現時点での見込み）	

令和9年度はパリ市15区からの派遣を受け入れ、以降も隔年で交互に派遣できるよう、協議を進めます。



港区イノベーションラボの実施

臨時（新規）

区ではこれまで、計画改定時の子どもへのアンケート、子ども版広聴、みなと子ども会議など、様々な手法で子どもの意見を区政に取り入れてきました。

新たに「港区イノベーションラボ」として、**子どもたちが研究員となって政策提案を行う取組を実施**します。



令和7年度 みなと子ども会議の様子

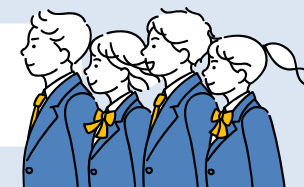
政策提案のテーマを設定し、区職員や有識者から専門的な助言を得ながら、地域へのヒアリングやワークショップなど、4か月間かけて取り組みます。最終回にその成果をプレゼンテーションで発表します。

対 象 政策立案に興味のある区内在住・在学の中学生・高校生相当年齢の人

定 員 15名 **応募方法** 政策提案したい内容についての小論文等を提出

活動期間 令和8年5～8月

提案された政策は、区の関係部署が連携し、区政に反映していきます。



港区マイナンバーカードセンターの開設

レベルアップ



マイナンバーカードは、10年毎にカード自体の更新、5年毎に電子証明書の更新が必要です。カード交付開始から10年が経過する令和7年度以降、2つの更新時期が重なるため、区役所の窓口混雑が予測されることから、マイナンバーカードの更新業務を集約して行う「港区マイナンバーカードセンター」を開設します。

場 所	港区浜松町一丁目27番13号 VORT浜松町IV 4・5階
運営開始	令和8年4月
受付時間	月 曜 ～ 金 曜 午前9時から午後6時45分まで 第1・2・4土曜 午前9時から午後4時45分まで
閉 庁 日	第3土曜、日曜、祝日、休日及び年末年始

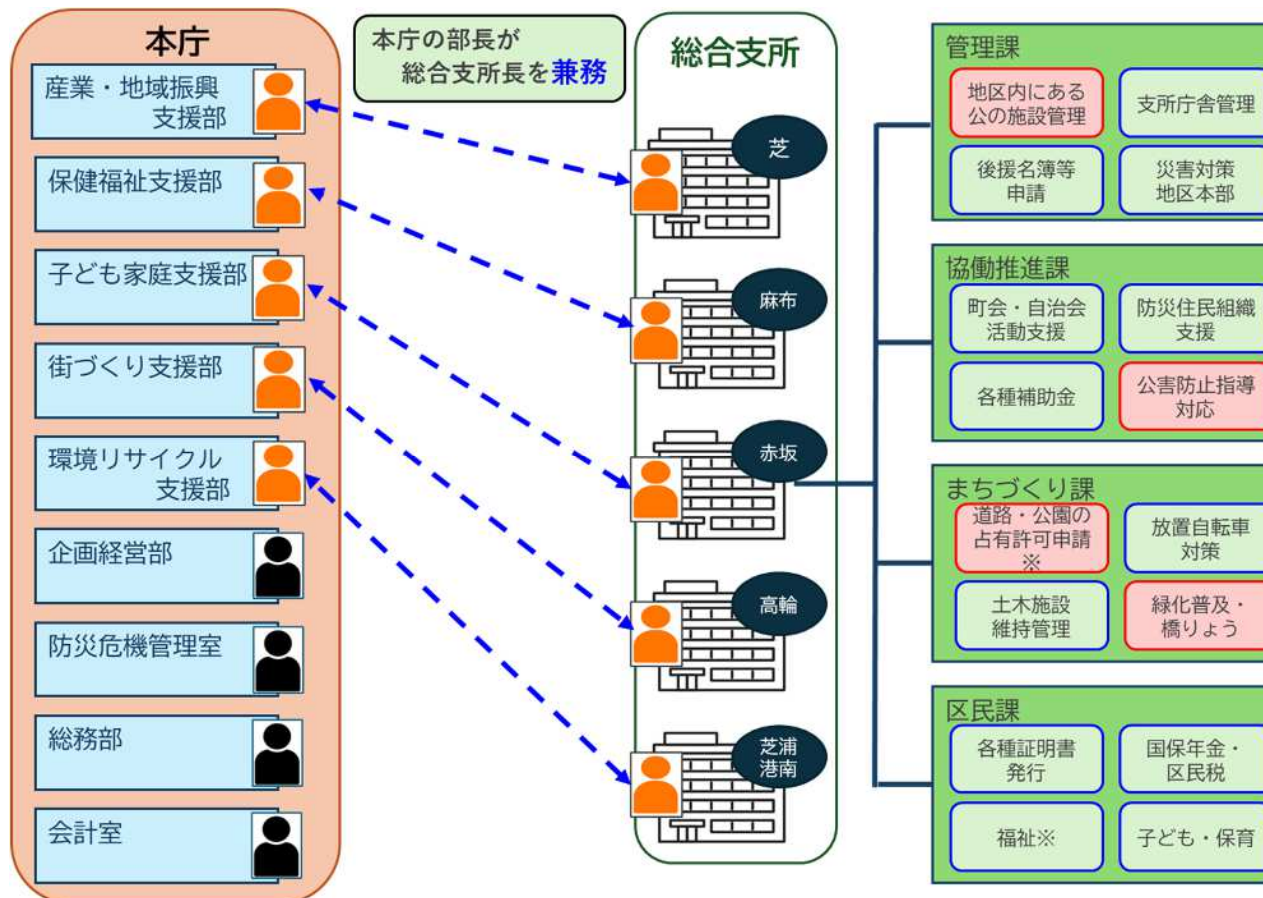
土曜開庁、予約制導入の「便利でお待たせしない」窓口です。



「将来に向けた持続可能な区役所」を実現するための執務室の整備

臨時（継続）

現在の総合支所制度



令和9年4月以降の総合支所業務の分担案

総合支所で引き続き対応する業務

本庁で対応する業務

※組織は現行の組織です。
令和9年度は組織改正を
予定しています。

※町会・自治会等からの占有許可申請については、引き続き総合支所で受付

※ケースワーク業務や困難事案については、本庁で対応



令和8年2月2日開催
港区令和8年度予算案記者発表

MINATO CITY 